

## 第54回 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（要旨）

日時：令和3年10月29日（金）16：00～

場所：401 会議室

### 【協議事項】

防災監：これより、対策本部会議を開催する。本日は公共施設の対応について協議を行う。現在の犬山市における公共施設は、大声や飲食を伴う利用については2分の1の制限を設けている。県の方向性としては10月30日までとなっている現在の内容を延長する形としている。それらの状況を踏まえた上で、市の対応を判断していく。まずは防災交通課より現状の報告を。

防災交通課長補佐：愛知県の7日間平均の新規陽性者数は、10月27日時点で21.9人と注意領域にあり、他の指標についても、すべての指標が緑色の注意領域となっている。県内では、8月のピーク時に比べると10月28日では、23人と陽性者数は激減しており、感染状況は落ち着いている状況。続いて、犬山市の状況について、10月の犬山市の新規陽性者数は、県と同様に落ち着いている状況であり、新規陽性者数が0人の日も珍しくなくなった。直近1週間の新規陽性者数は2人で、10万人あたりの感染者数は、2.72人となっている。

次に、今回の県の警戒領域の内容の変更点について、県では10月18日から愛知県全域を「警戒領域」として、基本的な感染防止対策を求めているが、その中で、イベントの開催制限について10月30日まで、大声なしが、収容率100%以内で10,000人まで、大声ありが収容率50%以内で10,000人までとなっていたが、今回、この制限のうち10,000人までという人数制限がなくなり、5,000人または、収容定員50%以内のいずれか大きい方となっている。大声のあり、なしについては、引き続き継続となっている。以上が主な変更点。

今後の市の対応について、今回の人数制限の撤廃は、犬山市においては影響が無いと思われる。県の警戒領域の感染対策事項として、大声ありが収容率50%との制限が引き続き残っているので、合唱など大声を出す活動や飲食を伴う活動については、引き続き収容率50%以内の制限を継続したいと考えている。報告は以上。

防災監：県の考え方としては、収容率50%制限は残しているが、イベントの上限10,000人制限を撤廃しているため、緩和する方向で動いている。10,000人規模を収容する施設が市にはないため、この緩和自体は本市に影響がないものと考えている。

県の動きとしては、昨日確認したところ、本日の記者発表後に県HP等が更新されるとのことなので、県の発表後に市のHP等も更新していく予定。

なお、近隣市町に確認したところ、春日井市と江南市は、犬山市と同じ方向で進めることが確認できている。小牧市もこれまでの傾向から春日井市と合わせることが予想される。

制限の期限についても、県の発表に合わせて、当面の間はこの形で進めたいと思っている。これらの対応について何か意見はあるか。（意見なし）

意見がないようであれば、この対応で引き続き進めていく。感染数も減ってきてはいるが、状況に応じて、その都度協議していく。では、以上で本日の会議を終了する。